



会長あいさつ

公益社団法人日本診療放射線技師会

会長 上田 克彦

第41回日本診療放射線技師学術大会

このたび、第41回日本診療放射線技師学術大会を、福井市で、2025年9月12日(金)から14日(日)の3日間にわたり開催できますことを、大変喜ばしく思います。本大会の開催に当たり、ご多忙の中、ご参加を予定される会員の皆さま、ならびに医療関係者の皆さまに、主催者として心より御礼申し上げます。

さて、昨年の第40回大会は、日本放射線技術学会との合同開催という大規模なものでしたが、今年の第41回大会は、本会の単独での開催となります。これは、大会テーマに「放射線技術のイノベーション」というテーマと「期待される診療放射線技師の役割に応えよう」というサブタイトルに示したように、職能団体として専門性と独自性をより一層深め、私たち診療放射線技師の課題と未来に真摯に向き合う機会として、非常に重要な意義を持つものと考えております。

現代医療において、多職種連携によるチーム医療の推進は不可欠です。本大会では、この「チーム医療の推進」を主要な企画の一つとして、複数のシンポジウムなどを予定しております。特に、診療放射線技師だけでなく、多岐にわたる医療技術職の方々にも講師としてご参加いただき、それぞれの専門的視点からご講演やディスカッションを展開していただきます。これにより、多様な視点からの学びを深め、チーム医療における診療放射線技師の役割を再認識し、さらなる貢献の可能性を探る貴重な機会となることと確信しております。

本大会が、ご参加される皆さまにとって、日頃の臨床での知見を共有し、活発な議論を通じて、診療放射線技術の発展、ひいては医療全体の質の向上に寄与する実り多き大会となりますことを心より祈念致します。

最後に、本大会の準備から運営にご尽力いただきました村中大会長をはじめ福井県診療放射線技師会の皆さまに心から御礼申し上げます。